

4

2026
APR

KUMAMOTO NISHI Y'S MEN'S CLUB
熊本にしワイズメンズクラブ
2026年4月7日発行 No.202

CHERTERED 2009



国際会長主題	"Faith, Love, Action"	「信念、愛、行動」	エドワード・オン(シンガポール)
アジア会長主題	"Act now with faith and love!"	「信念と愛を持って行動しよう！」	田上正 (熊本むさし)
西日本区理事主題	"Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!"	「世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!」	中井信一 (奈良)
九州部部长主題	"Let's serve the community while having fun and interacting"	「楽しく交流しながら地域のために奉仕しよう」	本田節子 (熊本N北°リット)

熊本にしクラブ会長主題 “変化へのチャレンジ” ~ The challenge to change ~
会長 東 菜保子

4月合同例会

(阿蘇クラブ・熊本ひがしクラブ・熊本にしクラブ)

📅 日時：2026年4月7日 (火)
19:00~21:00
📍 会場：YMCA阿蘇キャンブ

- 新酒紹介 山村酒造合名会社 (創業：宝暦12年(1762年))
- 例会内容 新酒の紹介と試飲会・販売

山村酒造ホームページ



【ハッピーバースデー】
該当なし

【アニバーサリー】
該当なし

今月の聖句

吉田 しのぶ

「神のパンは、天から降ってきて、世に命を与えるものである。」そこで、彼らが、「主よ、そのパンをいつもわたしたちに下さい」というと、イエスは言われた。「わたしが命のパンである。」

ヨハネによる福音書 6章35節

現代の私たちは、物質的な豊かさの中にながら、決して満たされない「心の空腹」を抱えています。いくら追い求めても消えないこの孤独や渇きを癒やすのは、物や地位ではありません。

イエスは「わたしが命のパンである」と告げられました。真の充足は、外側の豊かさではなく、永遠の命を与えるイエスという存在によるのみ与えられるのです。

いざ立て

1. いざ立て心あつくし 手を挙げ誓いあらたにわれらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン 絶えせぬあめ望み この身を捧げ尽くさん
2. 歌えば心ひとつに とみがきひろがりゆきて 遠きも近きも皆 捧げて立つやワイズメン 栄えと誉れ豊か まことは胸にあふれん

なごりはつきねど

なごりはつきねど つどいははてぬ
今日ひとひのさち 静かに思う

3月例会出席状況

在籍会員数	19名	例会出席率	72.2%
広義会員数	1名	メイキャップ	なし
例会出席数	13名	メネット	0名
第1例会	13名	コメント	0名
第2例会	6名	ゲスト・ビジター	45名

会長通信

桜の季節になりました。

今年は春らしい寒暖差が激しく、桜が咲き始めたと思えば、満開を前に大荒れの天気予報。桜の華やかさが一瞬で過ぎ去ってしまう儚さを、より強く感じる春となりました。



熊本にしクラブ17代目会長
東 菜保子 with くまモン

毎年、桜の季節になるとふと考えることがあります。
——日本人はどうして、あれほど桜を愛でるのに、菜の花にはあまり目を向けないのだろう、と。

小学生のころ、父に「どうして私は“菜保子”という名前なの？」と尋ねたことがあります。そのときの答えは、「菜保子が生まれた時に菜の花が咲いていて、健やかに華やかに育ててほしいと思ったから」。

子どもの私は素直に信じていましたが、大人になって気づいたのです。

——私は5月生まれ。生まれたときに菜の花は咲いていない。

後に父へそのことを確かめると、
「小学生の子どもに“菜の花のように雑草魂でたくましく”なんて言えんだろう」と笑っていました。確かに、そんな説明をされたら反発していたかもしれません。

ちなみに、私の姪は“桜子”と“莉莉子”（百合＝Lilyの花から）。

毎年、5月の父の月命日には、菜の花・桜・百合を揃えてお墓参りをしています。東家のお墓の周りには天然の桜があり、百合と菜の花は花屋で買うのですが、毎年の悩みがひとつ

——菜の花が、花屋にほとんど置いていないのです。

シーズンだの旬だのと言われても、肝心の花屋に並んでいない。だからといって、道端に咲いている“あれ”を摘んでいくわけにもいきません。

（あれはあれで、どこでも雑草魂で咲いているのに）

それなのに、どういうわけか東家のお墓の周りには、天然の菜の花が一本も咲いていないのです。雑草魂、どこへ行ったのか——毎年、少しだけ首をかしげています。

そんな“季節外れの名前”を抱えつつも、花々にまつわる思い出は、いつも私を温かい気持ちにしてくれます。

桜の儚さに、菜の花のたくましさを重ねながら——

残りの会長期も、皆さまと共にしっかり務めてまいります。

ワイズメンズクラブ国際協会
第29回 西日本区大会
2026年 6月13日 土 なら100年会館
6月12日 金 ホテル日航奈良
前夜祭
KOTOWA奈良公園 Premium View
ホストクラブ:奈良クラブ
サブホスト:和歌山クラブ、大阪サウスクラブ、大阪河内クラブ、
大阪長野クラブ、大阪泉北クラブ、和歌山紀の川クラブ

3月 4クラブ合同例会に参加して

3月10日、熊本ホテルキャッスルにて、ジェーンズ・にし・ひがし・水前寺の4クラブ合同例会がありました。
なんと50名超えの大にぎわい。久しぶりにちよっと緊張感のあるスタートでした。

まずは開会挨拶のあと、みんなで食事タイム。
キャッスルホテルの洋食が本当に美味しくて、焼き立てパンはついおかわりしてしまうほど。



中西 賢一
国際・交流事業主任

テーブルでは4クラブが自然に混ざって、「元気だった？」みたいな会話があちこちで弾んでいました。
食事が落ち着いたところで、いよいよ大西一史市長が登場。

胸には久しぶりのにしクラブバッジ。

「久々に嬉しいね」と笑顔で話されて、会場の空気が一気にあったかくなりました。

卓話かというと、
市長らしいぶっちゃけトーク多めのフレンドリーな感じ。
笑いも起きつつ、内容はしっかりと「市政の課題」や「これからの熊本の方向性」など、深い話が続きました。
むしろ時間が足りないくらい話したいことがあったようで、参加者も「もっと聞きたいね」という雰囲気。

全体として、緊張感と温かさがちょうどいいバランスで混ざった、とても良い合同例会でした。

4クラブのつながりも深まり、
にしクラブとしても“仲間の市長を迎える特別感”をしっかりと感じられる夜になりました。

ジェーンズクラブとの合同例会に参加して

中原 ゆう子

3月10日に開催されたジェーンズクラブとの合同例会に参加させていただきました。

会場はホテルキャッスルで、普段とは異なる雰囲気の中、多くの方とご一緒できたことを嬉しく思います。すべての方とお話しすることはできませんでしたが、また機会があればぜひ交流させていただきたいです。

当日は、熊本市の大西市長による卓話も拝聴しました。ご多忙の中お越しいただき、地域振興券や交通渋滞、市庁舎建て替えなどについてのお話から、熊本をより良くしようとする思いが伝わってきました。私自身も市民の一人として関わっていきたく感じました。

なお、当日は体調不良により途中退席となり、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。



大西熊本市長を卓話者に迎えて

岩本 悟

3月10日（水）19時からホテルキャッスルにて、熊本ジェーンズ、熊本ひがし、水前寺、熊本にしの4クラブ合同例会が開催されました。その卓話者に大西熊本市長が予定されていました。

私は約15年前に当時、県会議員だった大西一史氏を同じく卓話者にお呼びしその後メンバーとして入会していただきました。

最近の熊本の渋滞問題や市庁舎建替え問題で不満をもっていた私は、スポンサーながらこの不満をどう質問としてぶつけようかと虎視眈々と策を練っていました。しかし卓話を聞いてその不満が感謝へと変わっていききました。建て替えて約1000億円使うなら渋滞で日々無駄な時間を使ったりイライラしたり公害問題など優先順位が上だろろうと思っていました。

卓話の中で市長は、渋滞問題で国土交通省と頻りに掛け合っている事や、県とも連携して事に当たっていること。熊本地震でも壊れなかったから建替えの必要はないと思っていましたが、有事が発生した場合、対策本部の拠点としての機能や老朽化、狭い等10年後20年後を見据えて事に当たっておられた事がわかりました。

終わった後 市長に「今日話されたような事を市民に解るように情報発信して欲しい」と依頼しました。

このような企画を考えていただいたジェーンズの森会長に感謝申し上げます。非常によい例会でした。



五福幼稚園 卒園記念「漆喰手形づくり」と卒園式参加のご報告

中西 賢一

この春、五福幼稚園の卒園記念として、にしクラブで漆喰手形づくりのお手伝いをしました。この企画は、東会長の「子どもたちに、ちゃんと形に残るものを」という一言から始まったものです。

子どもたちは、自分の手形が浮かび上がるたびに「わあ！」と目を輝かせ、タイルを並べたり、彫り込みをしたりと夢中になっていました。大人も子どもも同じ机を囲んで、真剣だったり、笑ったり。

ほんの数日でしたが、そこには確かに交流が生まれていて、にしクラブらしい“そっと寄り添う時間”が流れていました。完成した手形を抱えて、満面の笑顔でピースしてくれる子もいて、

「この瞬間のためにやってよかったな」

そんな気持ちが自然とこみ上げてきました。そして迎えた卒園式。

園庭には先生が描かれた大きな地上アートが広がり、春の光の中で子どもたちを優しく送り出していました。その中を歩く子どもたちの姿を見てみると、「たった数日しか会っていないのに、もう卒園か…」

そんな思いが胸に広がり、気づけば涙がこぼれそうになりました。子どもたちの成長って、どうしてこんなにも心を揺さぶるんでしょうね。

式後に手形をお渡しすると、保護者の皆さんから

「素敵な記念品をありがとうございます」

「家に飾りますね」

とあたたかい言葉をいただきました。さらに来賓の方からは、

「YMCAは本当に素晴らしい幼稚園ですね」

と感謝の言葉もあり、にしクラブとして関わる事ができたことを誇らしく感じました。

にしクラブは、関わる時間の長さよりも、心を込めて寄り添い、交流を育てることを大切にしてきました。

今回の活動でも、その想いがしっかり形になったと感じています。これからも地域の子どもたちやご家族の笑顔につながる活動を続けていきたいと思ひます。



専修学校 熊本YMCA学院・入学式

東 菜保子会長

確定申告期の繁忙期真っ只中の3月11日、職場には内緒で熊本YMCA学院の卒業式に参加しました。

普段はほとんど身につけることのない胸章をつけ、来賓として迎えていただくという、少し照れくさいような、でも嬉しい時間でした。教頭の吉田担当主事から熊本にしウイズメンズクラブ賞について簡単に説明を受け、会場へ向かいました。

振り返ると今期は、アジア大会やリーダー交流例会、学院生との交流例会など、学生のみなさんと触れ合う機会が本当に多かった一年でした。

卒業式で特に心に残ったのは、ホテル観光科の渡邊先生が涙をこらえきれず、卒業生の名前を呼ばれていた場面です。アジア大会での先生と学生たちの温かい関係性や、2月の交流例会で「学生にとって一番良い形」をいつも考えて動かれていた姿を見ていたからこそ、その涙に自然と共感してしまいました。

それから約3週間後の4月3日。仕事も少し落ち着いたので、今回は堂々と職場に宣言して入学式へ。

今年度の入学生には友人の息子さんもいるので早めに行くつもりが、気づけばギリギリに到着。それでもホテル観光科の2年生が控室まで案内してくださり、伊藤総主事と、校長の吉田担当主事にご挨拶をして、すぐに会場へ向かいました。

卒業式とは違い、色とりどりのヘアカラーで気合いの入った新入生たちの姿がとても新鮮でした。社会へ旅立つ前の大切な準備期間をここYMCAで過ごす学院生たち。にしクラブは学院生の支援を目的の一つとしているからこそ、彼らが卒業するときに「ワイズメンズクラブ」という名前を少しでも温かく覚えていてくれたらいいな、とあらためて思いました。

入学式後、先生方と新入生たちが楽しそうに話している姿を見て、大学とはまた違うアットホームな空気を感じ、学院の新しい一面に触れたような気がしました。

社会に出てからも毎年新年度は迎えるものの、今年は卒業式と入学式に参加したことで、いつも以上に「新しい季節が始まったんだな」と心がふっと切り替わるような、そんな時間をいただきました。

皆さんは、新年度をどんな気持ちで迎えられましたか。


 吉田しのぶ校長の挨拶


完治のご報告 YYY（私とワイズとYMCA）

佐藤 通彦

今回、私の白血病闘病に関して、気にかけていただいた皆様にお礼申し上げます。

この感謝を記事にしたいと、東会長に相談したところ、「好きなページ数裂いても良い」との回答。なんと男気を持った女性なのでしょうが……。プリテン委員長という職権を乱用し、少しページを拝借させていただきます。

この度、半年の入院・2年間の抗がん剤服用での治療を終え、最終骨髄検査で問題なく、一通りの治療を終えることができました。今後1年間は、月1の血液検査が続きますが、薬も無くなり、気が楽な生活に戻れます。

この治療において、担当医の方から入院中に、「もどる場所・もどりたい場所がある人は強いから大丈夫！」と言いつけていただきました。治療を終えた今、このキーワードを振り返ります。

私にとって、戻る場所とは？ 緊急入院した2023年9月、私は30年務めたサラリーマンを脱サラしたばかり・・・、戻る職場があるわけではありません。もちろん家庭・家族はありますが、最悪なことに、娘の大学受験期間。父親など、邪魔しないように静かにしておかなければならないタイミング。入院自体が家族の為になったのでは？とも思えるタイミングでした。

そうなってくると、次に考える場所が、ワイズとYMCA。

ワイズは、2000年9月、田上 正ワイズ(熊本むさし) に誘われて、熊本むさしクラブに入会したのがスタート。既に人生の半分近い長期間、お世話になっています。2005年に、当時熊本みなみクラブのメンバーであった平岡ワイズと結婚。メネットも元々、熊本YMCA学院卒・キャンプリーダー卒ということで、YMCAと深く繋がりを持っており、コミットのひかりは、東京居住中の幼少期、毎年、東京YMCAの山中湖キャンプ場でのサマーキャンプ・野尻キャンプ場でのスキーキャンプ。埼玉YMCAで毎週のデイキャンプ等を通して育ちました。

帰熊後、コミットにとっては、小学5年生時代に熊本YMCAの富士山頂登山プログラムに参加した頃から、性格が大きく変わったような気がしています。

私たち夫婦は、決して表には立たず、裏方に徹する性格ですが、この頃からのコミットは、本当に纏め役が好きな性格に変貌しました。中学生時代は、男の子を差し置いて、応援団長になり体育祭を盛り上げ、高校時代は、自ら選挙に立候補し、生徒会長へ。両親が経験することが無かった世界を、邁進しています。

これらは、多くのワイズの見守り、YMCAプログラムの良質な部分の影響が非常に大きいと考えています。日本どこに住んでいても関われるのが、ワイズとYMCA。東京時代は、東京西クラブの散策イベントにも家族で参加させていただきました。散策後の河原でのバーベキュー、美味しく、コミットの喜んでいる姿が忘れられません。

このように、現時点で家族全員が、ワイズ・YMCAとの接点を持ち、切っても切れない関係を持たせていただいています。

闘病中も、多くの皆さんにご心配いただきました。

井之上温代ワイズ(滋賀蒲生野クラブ) から、入院中に別件の電話をいただきました。「現在、入院して白血病と闘病中」とお伝えすると、「白血病なんて、近年、風邪に毛が生えた程度でしょ?! 」と笑い飛ばしていただきました。井之上ワイズがそう言うなら、そのように思えてくるのが、不思議なところです。

井之上ワイズには、2代目LD委員長を引き受けられた時に、LD委員会でしっかりお世話になりました。あのアクティブな委員長の元、私も当時、一番ワイズらしい活動をしていた気がします。

退院した後、

森田恵三ワイズ(京都ウエストクラブ) から、直接お電話をいただきました。

普段、イベント等でお会いする時は、森田ワイズの周りには人が集まっておられるので、世間話をゆっくりするタイミングは無いのですが、「よく頑張った。良かった。」と労いの言葉をいただき、身近なところで白血病と闘病した方がおられた事をお話いただき、今後、続く抗がん剤治療に対してエールをいただきました。

私は入会前で、関わっておりませんが、森田ワイズは、日本区理事をされていたということで、これまでも出版された書籍等を通して、良いワイズへの関わり方の導きをいただいています。

本当に多くの仲間にお世話になっています。私が入会后、熊本から西日本区理事をされた方も多く、

2000年度・2001年度、吉本貞一郎理事(熊本クラブ)には、ワイズ時間以上に、熊本YMCAの運営委員会・常議委員会でYMCAとの関わりを教わりました。

2008年度、佐藤典子理事(熊本ジェーンズクラブ)には、入会当初から、ジェーンズクラブ例会・2次会・3次会・4次会・5次会と例会を楽しみつづ姿を学ばさせていただきました。また、小型船舶免許を取得している身からすると、クルーザー遊びにも誘っていただき、何に対しても楽しめる姿は、憧れでもあります。

2016年度 岩本悟理事(熊本にしクラブ)とは、2000年に熊本むさしクラブに入会した時から、同じクラブメンバーとしてお世話になりました。間違いなく、これまで1番長い期間、1番近い場所で、活動を見守っていただきました。独身時代の彼女探しの頃からお世話になっていますので、私にとっては、昭和長屋の大家さんのような存在です。

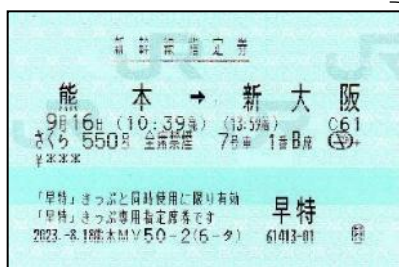
2022年度 田上正理事(熊本むさし)は、私にとってスポンサーであり仲人。偶然に、飲み屋のカウンターで知り合い導いていただいたワイズで、本当に人生が変わりました。人生は1回しかないもので、何が成功かはわかりませんが、田上ワイズと知り合わず、ワイズにも関わっていなければ、今とは大きく違う人生を歩んでいたことは間違いありません。

私自身YMCAとも、早くに繋がりました。ワイズに入会し、数年後には、ICRメンバーシップ委員・むさしセンター運営委員・みなみセンター運営委員・熊本五福幼稚園運営委員・常議員と多くの委員会に属させていただき、YMCAと関わっています。多くのワイズとは違い、これだけ早く・長くYMCAと繋がりを持ったのは、当時ジェーンズクラブの例会を楽しみ、朝まで飲んでおられた、吉本貞一郎ワイズ(熊本クラブ)・佐藤典子ワイズ(熊本ジェーンズ)、加藤國博ワイズ(熊本ひがし)・小堀鈴代ワイズ(熊本ジェーンズ)、あたりの方々の影響が強いと思います。いつも、私自身は意味も理解していませんでしたが、朝まで熱く、ワイズとYMCAについて語っておられる姿をみて、自然と誘われるまま・・・YMCAにも関わるようになっていました。これを思い返すと、熊本地域も、他クラブとの交流をもう一度活性化することが、熊本地域のワイズを盛り上げる一つとなると思います。

緊急入院した時、私は、熊本YMCAの常議員会副議長という役をいただいております。副議長は、議長の指名で決まるのですが、当時の議長が、本田節子九州部部长(熊本Nスピリット)でした。何故私を副議長に指名したのでしょうか？ 実は、本田九州部部长は、私のメネットがYMCA学院生だった時の先生。そんな繋がりを持つ本田九州部部长の指名は引き受けなければと引き受けさせていただきましたが、2ヶ月でリタイヤということになってしまいました。その後入院していた半年間、副議長の役を担っていただいていたのが、守田富男ワイズ(八代クラブ)。議長と副議長は、常議委員会開催日は、1時間早く会場入りして、総主事たちと会議の流れを確認します。そんな役目を、八代という遠方からの移動がありながら引き受け続けていただけていました。退院し翌年4月から常議員会にも復活しましたが、守田ワイズは何も言わず、私の任期が終わるまで4月・5月・6月の3カ月間、1時間以上前に会場入りしてくれていたことを知っています。お礼をお伝えすると、「佐藤君の体調が芳しくない時は何時でサポートするから・・・」と優しい言葉をかけていただきました。守田ワイズの男気にも頭が下がります。

家族3人全員が、各々の立場に関わり続けている、ワイズとYMCA。各々の繋がりを紐解き出すと、書籍を出版できる状態になるかもしれない。まずは、人生を支えていただいた、ワイズとYMCAにお礼と感謝をし、私の戻る場所は「ワイズだった」という締め方にしたいと思います。

今後は、治療自体は終わりましたが、私以上にダイエット成功してしまった家計のリハビリを数年単位で頑張りながらワイズとYMCAを白血球サイバーとして楽しんで行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



2023年9月17日の京都部会に参加する為に購入していた新幹線の切符。
 9月13日に緊急入院となってしまう為、使えず仕舞い。
 今となっては、良い思い出であり、記念品となりました。



3月例会にて、21回目のアニバーサリー記念品を東会長を通してクラブからいただきました。完治祝いも含めたタイミングで、本当にありがとうございます。

理事通信

編集&発行・西日本区理事事務局

2026年4月号

◇主題

『世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!』

“Let’s enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!”

◇副題（スローガン）

『あなたに寄り添う。あなたを忘れない。』

“ Stay with you. Never forget you.



2025-2026 年度
西日本区理事 中井信一

◇理事あいさつ

春光うらかな季節となり、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。新年度を目前に控えたこの時期は、それぞれのクラブにおいて一年の歩みを振り返り、次なる一步を見据える大切な節目となります。今期も各地で工夫を凝らした例会、奉仕や交流活動が展開され、地域社会への貢献と共にユース及び YMCA 支援の輪が着実に広がっていますことを大変心強く感じており、感謝申し上げます。3月も多くの皆様と接する機会が有り、YYY ライフを楽しく過ごしました。1部をご紹介申し上げます。①単日開催でしたが、次期会長・主査研修

会(3月7日)に参加致しました。岡村次期理事の強いご意志のもと、“レクチャー”から“ラーニング”に方向性を切り替えられています。小生からも、ダーウィンの進化論『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのでもない。唯一生き残るのは、変化する者である。』との応援メッセージもお伝えしました。ご一緒に緊張感のある、学びの機会をご一緒に、交流致しました。





②「山下大ちゃん!お疲れ様でした!エルマークロウ賞受賞祝賀会」(14日)に参加し、約130名の皆様とお祝い致しました。1年間の活動がショートビデオでご披露され、常に笑顔で活動された、皆さん納得の受賞でした。嬉しい賑やかな祝賀会になりました。

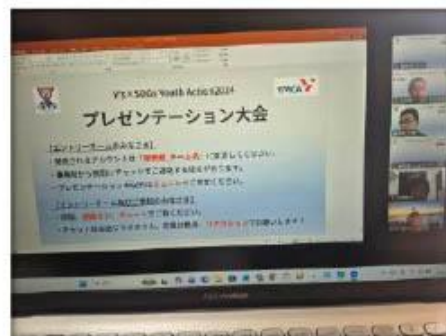


③日本YMCA同盟総主事就退任式(20日)@番町教会/四谷に東西日本区理事、次期理事とご一緒に参加致しました。韓国や日本各地から総主事の皆様やスタッフ、約120名がご列席され、田口総主事様には6年間のお礼と太田新総主事様には協働のお願いも申し上げます。第三部茶話会では、多くの総主事の皆さまとも貴重な交流の機会を頂きました。



④Y's x SDGs Youth Action 2026 プレゼンテーション大会(22日)がZoomにて開催されました。多くの皆様のご支援で西日本区から11名のチームが発表して頂きました。それぞれのチームが個性溢れる、豊かな発想の企画で我々にも多くの学びを頂きました。選ぶのが大変で、良い意味で選考委員泣かせでした。

結びに、今期の締めくくりに向けて、皆様のクラブの活動が実り多きものとなります様に、V字回復に向け笑顔で楽しみましょう。



3月企画例会報告

日時：2026.3.17（火）19:30～
 場所：熊本YMCA本館
 出席者：岩本、中西、橋本、東、吉田(し)、佐藤（記）
 メンバー数：19名 / 出席者数：6名

【報告事項】

1. 3月例会 熊本ジェーンズ、熊本ひがし、熊本水前寺、熊本にし4クラブ合同
 日時：3月10日 19時開始
 参加者：13名、ビジター 45名 合計 58名
 会場：熊本ホテルキャッスル
 ※大西市長からタイムリーな市政問題等について話をしていただき、良い時間となった
2. 第三回 九州部評議会、YYYフォーラム
 ※次々期部長に、ジェーンズクラブ 森博之ワイズが推薦され承認された
 ※YYYフォーラムでは、リーダー主導で会員増強についてディスカッションを行ったが、リーダーの電子ツールを活用した進め方に感心した
3. YMCAより 吉田 担当主事
 ※学院で最後の入試が行われた。135名程度の新生が見込まれている
4. 西日本区より 中西 国際・交流事業主任
5. 九州部より 岩本 九州部会計
6. Yサ・ユース事業
 - ① 専修学校 熊本YMCA学院 卒業式 3月11日
 ※東会長が参加した。例年通り、熊本にしクラブ賞を表彰している
 - ② YMCA熊本五福幼稚園 卒園式 3月17日
 ※東会長・中西ワイズが参加した。卒園記念品の手形は、中西ワイズの仕上げ後、幼稚園で綺麗にラッピングされ、プレゼントされた。卒園記念品作成は、本当に喜ばれているので、これからも続けられるように検討していきたい
 - ③ AYC2025報告会
 ※非常にYMCA・リーダー活動を理解しているユースからの発表が印象的だった

【協議事項】

1. 4月例会 新酒例会 主催：阿蘇クラブ
 日時：4月7日 19時開始
 会場：YMCA阿蘇キャンプ場
 卓話者：山村酒造
 会費：確認中
 ※今月末を期限に、中西ドライバー委員長から案内・参加者集計を行う
 ※参加費については、4000円程度は、クラブ負担とする
2. 5月例会について
 日時：5月12日 予定
 内容：次期への準備例会（区・部）
 卓話者：横田 次期九州部部長
 森 次期西日本区Yサ主任
 ※東次期地域奉仕・環境事業主任から卓話的なことをするかは、検討中
3. 次期について？
 - 今後の行事予定と内容について
 - 3/22（日）Youth Action 2026 プレゼンテーション大会
 - 4/ 4（土）リサイクルファンド
 - 4/ 7（火）4月例会 新酒例会
 - 4/21（火）4月企画例会
 - 5/12（火）5月例会 次期への準備例会
 - 5/26（火）5月企画例会（当初の19日、会長仕事のため変更）
 - 5/（ ）能登ツーリング 西日本区 国際・交流事業
 - 6/13（土）西日本区大会（奈良）
 - 7/（ ）7月キックオフ例会

熊本YMCA学院通信

吉田 しのぶ

今年度も熊本YMCAの専門学校や幼稚園に、期待と緊張を胸にした新しい仲間たちが加わりました。植物が一斉に芽吹くこの4月、慣れない環境にドキドキしながら一步を踏み出す人々を、私たちは温かく迎え入れたいと思います。

物質的な豊かさの中にあっても、時に私たちは言いようのない心の渇きを感じる場合があります。その空白を満たすのは、物や地位ではなく、人との真のつながりや、誰かのために歩むという心の充足感ではないでしょうか。

新社会人や子供たちの瑞々しいエネルギーに触れ、私たち自身もまた、新たな気持ちで前へと進んでいきましょう。この春の出会いが、互いの心を豊かに育む素晴らしい始まりとなりますように。





専門学校 の 行事

- 4月 3日 (金) 入学式
- 4月 6日 (月) ~ 8日 (水) フレンドシップデイキャンプ
- 4月 9日 (木) 前期始業

幼稚園 の 行事

- 4月 8日 (水) 1学期始業式
- 4月14日 (火) 入園式
- 4月29日 (水) お見知り交流会 (二の丸公園)

編集後記

広義会員の大西市長をお迎えての4クラブ合同例会、多くのメンバーとの交流、市民なら気になっている市政をユーマアを含めて話される卓話。本当に良い時間を持てました。
 また、東会長・中西ワイズを中心に計画いただいた、幼稚園卒園記念品の作成・贈呈プログラム。本当に素晴らしい活動を計画・実行していただきました。
 私も、記念品を作成する幼稚園生をみていて、自分の娘も、この歳の頃が、一番可愛かったと思い起こす、ほっこりする春の一時を過ごさせていただきました。春のワイズ行事は、明るく・温かく、賑やかです。

佐藤 通彦

今後の予定

- 4月 7日 (火) 4月例会 新酒例会
- 4月21日 (火) 4月企画例会
- 5月12日 (火) 5月例会 次期への準備例会
- 5月26日 (日) 5月企画例会 (当初の19日、会長仕事のため変更)
- 5月 日 () 能登ツーリング 西日本区 国際・交流事業
- 6月13日 (土) 西日本区大会 (奈良)